人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 妊娠中の喘息治療薬およびレボチロキシン曝露と児の自閉スペクトラム症・注意欠如多動症との関連: JMDC 保険者データベースを用いた後ろ向きコホート研究
	●研究の対象 2005 年１月から 2025 年３月までの期間、複数の健康保険組合に由来する加入者台帳、医科・調剤レセプト、傷病、薬剤、診療行為、材料、医療機関および健康診断情報から構成される「JMDC Payer-based data」である（株式会社 JMDC, 2025）。データ種別は、健康保険組合が作成し、株式会社 JMDC から二次利用のため提供された「匿名加工情報（Anonymously Processed Information）」である（株式会社 JMDC, 2025）。
	●研究の目的 妊娠している間に、喘息などのような持病が悪化してしまうと母体にも胎児にもよくないため、持病への必要な治療をきちんと続けることが大切です。持病の治療薬を妊娠期間中に継続することの安全性については、既に様々な研究が行われてきましたが、まだ分かっていない部分もあります。そこで、この研究では、匿名加工された沢山の継続的な診療データをもとに、喘息や甲状腺の病気の治療薬を妊娠期間中に続けることがその子どもが生まれた後の発達に影響がないかどうかや、それ以外に関連する要因がないかなどを調べます。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2028 年 9 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法

	本研究は、浜松医科大学のみで行います。他の機関にデータを提供することはありません。株式会社 JMDC から受け取った匿名加工された電子データは、浜松医科大学子どものこころの発達研究センター内の保管室に設置した専用コンピュータに保存し、同端末上で解析します。保管室は施錠し、端末およびファイルはパスワードで保護し、暗号化します。アクセス資格情報を保有する者は研究責任者の長田アビルのみです。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、生年月、家族構成、病歴、治療歴　等
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学　長田 アビル
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合であっても特定の個人に遡ることができない状態に加工された情報を使用するため、使用や提供の停止に応じることができません。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合であっても、特定の個人を識別できない状態に加工された情報を使用するため、あなた自身にあなたの結果をお伝えすることができません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合であっても、特定の個人を識別できない状態に加工された情報を使用するため、対応できません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	部署名：　子どものこころの発達研究センター 担当者：　長田 アビル TEL：　053-435-2331 E-mail：